

公共事業事前評価調書(令和6年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班 災害砂防班

事業名	金武浜田原地区急傾斜地崩壊対策事業	事業区分	急傾斜地崩壊対策事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	金武町金武浜田原地内				
事業の諸元	急傾斜地崩壊危険区域 A=約0.99ha 崩壊土砂防護柵、法砕工 各一式				
事業の概要	<p>当該地区は、金武町金武浜田原地内に位置する南向き斜面で、平均がけ高約16m、平均勾配約46度の急傾斜地であり、保全対象はがけの上下に、人家13戸及び要配慮者施設があり、斜面直上には金武町の配水池がある。</p> <p>斜面上方は全区間にわたって石灰岩の急崖となっており、斜面下方の町道脇にはこの急崖由来の転石が点在している。また、多数の倒木や小規模の崩壊跡も確認された。これらの状況から、今後もこれらの落石や表土層の崩壊が発生する恐れがあることから、急傾斜地崩壊対策事業を実施するものである。</p>				
事業の必要性・効果等	<p><必要性></p> <p>当該急傾斜地において、崩壊跡及び倒木が確認され、斜面全体が不安定な状態となっている。本事業の実施により、災害を未然に防ぎ、周辺住民や要配慮者施設(障害者支援施設、保育所)の利用者や職員の生命・財産の保護が図られる。</p>				
	<p><効果等></p> <p>人家及び要配慮者施設の生命・財産を守ることができる。</p>				
事業期間	事業採択	令和6年度	完了(予定)	令和10年度	
全体事業費	2.8(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	1/2
費用対効果	B/C = 13.62	総便益:B 36.09(億円) ①被害軽減便益 36.09億円	総費用:C 2.65(億円) ①建設費 2.58億円 ②維持管理費 0.07億円	基準年	令和5年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>地元区長からの要請を契機に、事業実施に向けた条件整備に鋭意取り組んでおり、地権者同意取得状況も約95%と高い数値であり地元の期待も大きい。</p> <p>上位計画では、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画において「あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり」の中で、土砂災害対策への取り組みが位置づけられている。</p>				
環境への配慮	斜面下に崩壊土砂防護柵を設置する対策工法により、地形改変を最小限に抑え環境へ配慮する。				
関係する地方公共団体等の意見	平成31年2月に金武区長から金武町長宛へ斜面对策に対する要望が提出されている。				
概要図(位置図)					